国民年金額を引上げ

—額は三・四%アップ—

◇◇国民年金コーナー◇◇

さきごろ、スライド改定を内容とする国民年金法の一部が改正されました。

拠出年金の年金給付は、原則として五年ごとに政策改定が行われますが、その間に全国消費者物価指数が前年度に対し五%を超えて変動した場合は年金額が改定される物価スライド制が設けられています。また、所得制限限度と併給限度額も緩和されます。

ところで八月は　みどりの年金証書を役場に提出する月となっています。これは、来年七月までの福祉年金が受けられるかどうかを確認するためのものです。

受給者のみなさん、八月期の年金を受給になりましたか？。十二日から支給が始っています。年金を受けとったらすぐに年金証書を忘れずに役場の年金係へ提出してください。

今年度の物価上昇率はこれ以内でしたが、社会経済情勢が考慮され特別的なスライドが行われることになりました。

福祉年金については、制度上スライド制はありませんが、改策的な改定が拠出年金と合せて行われていることにともない福祉年金の額も改定されます。五十九年度の

今月の献立て

あじのみそ香揚げ

材料（4人分）

- あじ …… 6尾
- 香りみそ
  - 白みそ …… 大さじ5
  - しょうが汁 …小さじ½
  - 刻みねぎ …… 大さじ1
  - 白ごま …… 大さじ1
  - （みそが固ければ酒少々でゆるめてもよい）
- ころも
  - 青じそ …… 12枚
  - 小麦粉 …… 1カップ
  - 溶き卵 …… 1個分
  - 冷　水 …… ⅗カップ
- 穂じそ …… 4～8本
- 揚げ油

作り方

①あじは三枚におろして、腹骨をそぎ取る。
②身を軽く押え、中骨は身にそって骨抜きで抜く。
③皮は、頭のほうから起こしてはぎとる。
④白みそ、しょうが汁、刻みねぎ、白ごまを合えて香りみそを作り、③のあじに香りみそを小さじ1くらいのせ、2つ折りにする。
⑤④に青じそを包んでようじで止め、ころもがつきやすいように小麦粉を薄くまぶす。
⑥小麦粉、溶き卵、冷水を合わせてころもを作り、カラリと色よく揚げる。

※上手に揚げるための条件※

㋑ころもは揚げる直前に、冷水と小麦粉、溶き卵をさっくり混ぜて、粘りを出さない。
㋺揚げ油はたっぷり、せめて深さ5センチはほしいもの。
㋩一度に、たくさん揚げない。（油の表面積の半分くらいの材料)油温が下がってべとつく。

公民館だより

9月の事業計画

日	曜	事業名	会場
25	水	高令者学級	月寿荘　午前10時
毎火曜週		スポーツ少年団柔道教室	西公民館　午後7時

拠出年金　（昭和60年5月から）

年金の種類		現行	改正額
老令年金	19年納付	40,975円	42,375円
	10年年金	30,375	31,408
	5年年金	25,858	26,733
障害年金	1級障害	59,775	61,817
	2級障害	47,817	49,450
母子・準母子年金	子1人のとき	47,817	49,450
	母子加算	62,817	64,450

福祉年金　（昭和60年6月から）

年金の種類		現行	改正額
老令福祉年金	扶養義務者等の年収が600万円未満	25,600円	26,500円
	同上の年収が600万円～876万円	23,500	23,800
障害福祉年金	1級障害	38,400	39,800
	2級障害	25,600	26,500

保健福祉だより

9月の事業日程

日	曜	事業名	対象	会場
15	日	敬老会		小学校
18	水	予防接種「風しん」	中学三年生女子	中学校
中旬		がん講演会	一般住民	未定
中旬		肺がん(喀痰)検査	対象者	
20	金	一才六ヶ月児検診（内科・歯科）	S59年2月1日～S59年5月31日生まれ	月寿荘
24	火	健康増進指導車	一般住民	未定
26	木	〃	〃	〃
		貧血精密検診	検診結果で必要とされた者	月寿荘
27	金	講演会	一般住民	就業改善センター

犬・ねこ指導取締り日　10日
引き取り日　6日

※　※

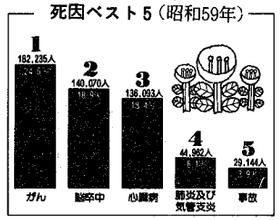
日	曜	機能訓練内容
10	火	習字・組ひも・ちぎり絵
17	火	習字
24	火	習字・組ひも・ちぎり絵
27	金	（午前）老人栄養教室（予定）

会場　月寿荘
時間　午後1時30分～
※印当日はバスを運行いたします。
就業改善センター

❀クローバー教室

九月・がん征圧月間『おかしいな』と思ったら検診を

日本人の死亡原因となっている病気のうちで、一番多いのがガンです。



がんを完全に予防することができない現状では、がんを早期に発見し、早期に治療することが大切です。早期発見のためにはがん検診をうけることです。

検診をうけない理由として、「健康だから」「忙しくて」ということがあげられますが健康だからこそ検診の意味があります。定期的な検診があなたの命を守ります。

あきつ俳壇

○沖縄の風鈴土産に貰ひけり　靖子
○図書館の庭の赤松毛虫這ふ　同人
○畫顔のからみしままの筋抗　同人
○桐の花落ちて蟻道乱しけり　硯山
○佛舎利へ続く小径の夏小菊　同人
○花柄のコップに麦茶出されけり　同人
○追憶の調べ流るる濃紫陽花　富代
○蚊やり焚き豚一頭を売りにけり　喜美
○児の植えし向日葵小さく咲きにけり　同人
○陽に透けしらすばかげらう宗吾の碑　同人
○湧水にトラト沈めの山の宿　和子
○筆硯乾きて梅雨の上りけり　同人
○蛍袋朝の雫をこぼしけり　同人
○風呂桶の裏側干されえごの花　羅春
○引浪に乗って小蟹の流れけり　同人
○裸灯を吊りし楽屋の花絵葵　同人
◎揚舟をやぐらに浜の盆踊　羅春

評　熱帯夜、涼を求めて浜辺に集まった若者達が櫓がわりに浜に揚げてある舟の上で太鼓を打ち盆踊りを始めた。踊輪はだんだん拡がり明け方まで踊りが続く。こんな状景は少なくなりつゝある